

第3期末（2025年12月10日）

基準価額	10,898円
純資産総額	95億円
騰落率	0.8%
分配金	0円

ニッセイ／シュロージャー 好利回りCBファンド 2022-12 (為替ヘッジあり・限定追加型)

追加型投信／内外／その他資産（転換社債）

運用報告書（全体版）

作成対象期間：2024年12月11日～2025年12月10日

第3期（決算日 2025年12月10日）

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ／シュロージャー好利回りCBファンド2022-12（為替ヘッジあり・限定追加型）」は、このたび第3期の決算を行いました。

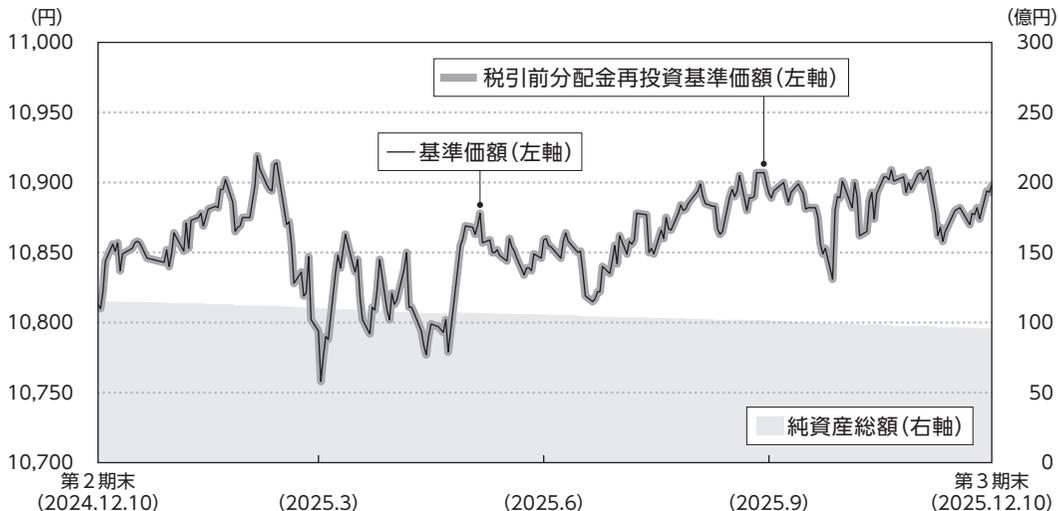
当ファンドは、「シュロージャー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、日本を含む世界のCB（転換社債）を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2024年12月11日～2025年12月10日

基準価額等の推移



第3期首	10,813円	既払分配金	0円
第3期末	10,898円	騰落率(分配金再投資ベース)	0.8%

- (注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 2025年1月中旬から2月中旬にかけて、生成人工知能（AI）の技術進展や関連インフラへの巨額投資発表に加えて、トランプ米大統領の関税政策が楽観的に受け止められたことなどにより、株式市場が上昇しCB市場も一定程度追随したこと
- ・ 4月中旬から6月中旬にかけて、トランプ米政権の関税政策を巡る米中貿易協議進展への期待感や米雇用統計等の経済指標が堅調な結果であったことなどにより、株式市場が上昇しCB市場も一定程度追随したこと

<下落要因>

- ・ 2月下旬から3月中旬にかけて、トランプ米政権の追加関税導入の見方が高まったことに加えて、トランプ米大統領が短期的には市場や経済の痛みも辞さない意向を示したことなどから、株式市場、CB市場ともに下落したこと
- ・ 9月下旬から10月上旬にかけて、米中貿易摩擦の再燃やAI投資が過熱することへの警戒感、米政府機関一部閉鎖の長期化が懸念されたことから、株式市場、CB市場ともに一時下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	69円	0.638%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,861円です。
（投信会社）	(30)	(0.275)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(36)	(0.330)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(4)	(0.033)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	70	0.642	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

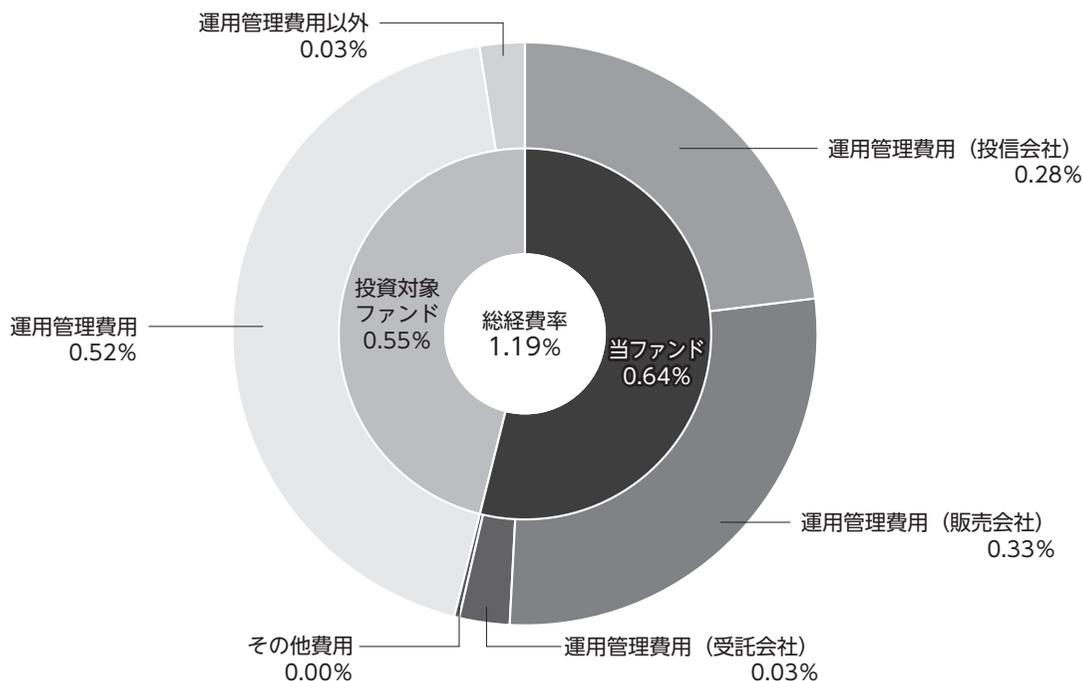
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、投資信託証券の概要に表示していません。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.19%**です。



総経費率 (①+②+③)	1.19%
①当ファンドの費用の比率	0.64%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.52%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

グローバルCB市況

グローバルCB市場は期を通じて見ると上昇しました。

期初から2025年1月上旬にかけて、株式市場、CB市場ともに方向感に欠ける展開となりましたが、1月上旬から2月中旬にかけては生成AIの技術進展や関連インフラへの巨額投資発表に加えて、トランプ米大統領の関税政策が市場で楽観的に受け止められたことなどにより、株式市場が上昇しCB市場も一定程度追随しました。2月下旬から3月中旬にかけてはトランプ米政権の関税導入の見方が高まったことに加えて、トランプ米大統領が短期的には市場や経済の痛みも辞さない意向を示したことなどから、株式市場、CB市場ともに下落しました。4月上旬から6月にかけては、トランプ米政権による関税政策を巡る米中貿易協議の進展への期待感や米雇用統計等の経済指標が堅調であったことなどにより株式市場が上昇しCB市場も一定程度追随しました。7月以降は、主要なグローバル企業の良好な業績動向や、米利下げ観測の高まりなどから株式市場が上昇しCB市場も一定程度追随しました。10月には米中貿易摩擦の再燃やAI投資過熱への警戒感、米政府機関一部閉鎖の長期化が懸念され一時下落したものの、米オープンAIを中心にAI投資の動きが継続したことや低調な米雇用指標を受け米追加利下げ観測が高まったことなどが下支えとなり、株式市場が緩やかに上昇しCB市場も一定程度追随しました。当期末にかけては、米労働市場減速への懸念が高まったことやAIへの過剰投資に対する警戒感がくすぶる中で、米政府機関一部閉鎖の解除や主要テクノロジー企業などの良好な業績発表などが下支えとなり、株式市場、CB市場ともに一進一退の展開となり、もみ合いで推移しました。

ポートフォリオ

■当ファンド

「シュローダー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

■シュローダー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）

*シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の資料（現地における当期末基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

主に日本を含む世界のCBに投資を行いました。なお、組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

<業種配分>

当期末時点では、組入比率の高い順に一般消費財・サービス（12.8%）、不動産（8.5%）、生活必需品（7.0%）としています。

<国・地域別配分>

当期末時点では、組入比率の高い順にアメリカ（101.0%）、イギリス（17.2%）、ドイツ（6.4%）として
います。

<通貨別配分>

当期末時点では、組入比率の高い順に米ドル（70.5%）、イギリス・ポンド（13.8%）、ユーロ（11.5%）
としています。

（注1）業種配分、通貨別配分の比率は対組入債券評価額比、国・地域別配分の比率は対純資産総額比です。

（注2）業種はGICS（世界産業分類基準）による分類ですが、GICS分類が不明な場合はブルームバーグ業種分類（BICSレベル1）
を基に分類しています。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

（注3）国・地域はシュロージャー・インベストメント・マネジメント株式会社の分類（設立地・登記国基準）によるものです。

■ニッセイマネーストックマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、安定
したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプト
に適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2024年12月11日～2025年12月10日
当期分配金（税引前）	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	921円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出
しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期
末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収
益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

「シュロージャー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

■シュロージャー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）

米国をはじめとする主要国の金利低下が進む中、企業にとってCBは引き続き魅力的な資金調達手段となっています。需給環境は引き続き強く、2025年の発行総額は過去最高水準を更新しました。アジア、欧州、日本のCBは依然として割安であり、グローバルな分散投資の観点からも魅力的であると考えます。特にAIインフラや半導体、再生可能エネルギーなどの成長テーマに関連する銘柄へのアクセス手段として、CBは有効な選択肢の一つであるといえ、AI関連での新規発行が市場をけん引しています。

当ファンドは、原則としてファンドの信託期間内に償還日を迎えるCBに投資し、償還日まで保有することを基本としています。発行体の信用リスク、流動性などを勘案し、相対的に利回りが高いと判断される銘柄を中心に投資を継続する方針です。

引き続き、主に日本を含む世界のCBに投資を行います。なお、組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。

■ニッセイマネーストックマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

■組入ファンド

	第3期末 2025年12月10日
シュロージャー先進国 好利回りCBファンド2022-12 (適格機関投資家専用)	99.6%
ニッセイマネーストック マザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

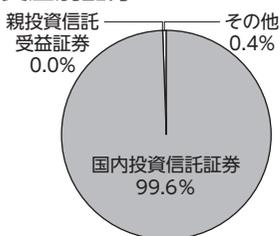
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

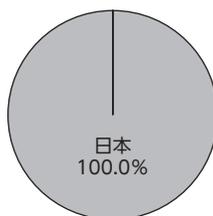
項目	第3期末 2025年12月10日
純資産総額	9,591,011,907円
受益権総口数	8,800,388,285口
1万口当たり基準価額	10,898円

(注) 当期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は1,887,944,180円です。

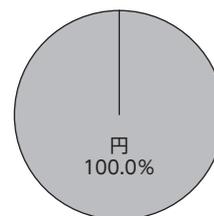
■資産別配分



■国別配分



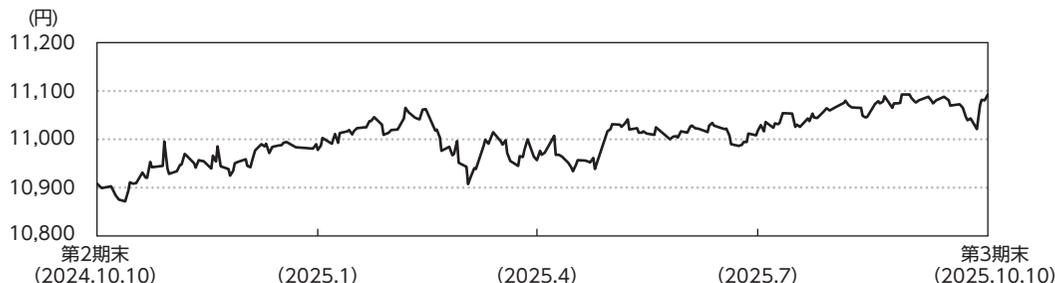
■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2025年12月10日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

シュローダー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）の概要

■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



■ 上位銘柄

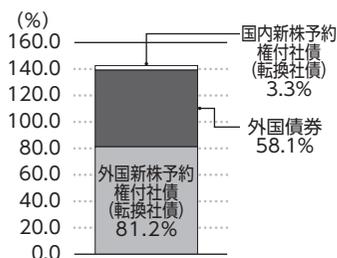
銘柄名	通貨	比率
US 0.625% 30/11/27	米ドル	58.1%
OCADO GROUP PLC 0.75%	イギリス・ポンド	7.5
CAPITAL&COUNTIES 2% CB	イギリス・ポンド	7.3
TAG IMMOBILIEN 0.625% CB	ユーロ	4.4
SOFI TECHNOLOGIES 0% CB	米ドル	4.2
TELADOC HEALTH INC 1.25%	米ドル	4.0
DELIVERY HERO 1.0% CB	ユーロ	3.5
NEXTERA ENERGY 0% CB	米ドル	3.1
IWG GROUP HOLD 0.5% CB	イギリス・ポンド	3.1
TRIPADVISOR 0.25% CB	米ドル	2.6
組入銘柄数		42

■ 1万口当たりの費用明細

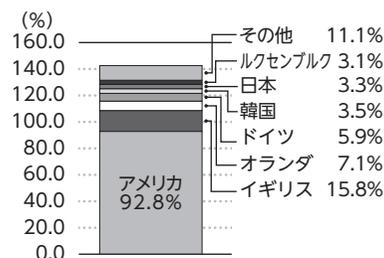
2024.10.11～2025.10.10

項目	金額
信託報酬	57円
（投信会社）	(54)
（販売会社）	(0)
（受託会社）	(3)
その他費用	3
（保管費用）	(1)
（監査費用）	(1)
（印刷費用）	(0)
（その他）	(0)
合計	60

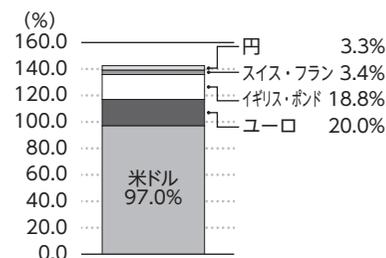
■ 資産別配分



■ 国別配分



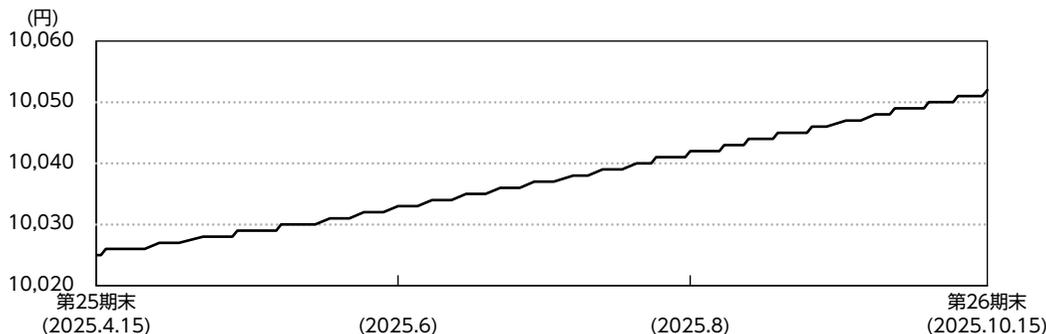
■ 通貨別配分



- (注1) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、投資信託証券の直近の決算期のものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。
- (注2) 1万口当たりの費用明細は、投資信託証券の直近の決算期のものであります。費用項目の概要については運用報告書（全体版）の1万口当たりの費用明細をご参照ください。
- (注3) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、投資信託証券決算日（2025年10月10日現在）のものであり、比率は投資信託証券の純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分については発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しています。
- (注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入資産の明細をご参照ください。

ニッセイマネースtockマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



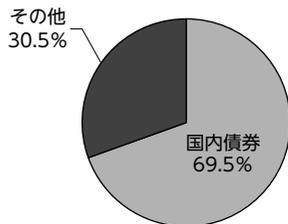
■ 上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
第160回 共同発行市場公募地方債	円	13.9%
平成27年度第13回 京都府公募公債	円	9.9
平成28年度第1回 広島県公募公債	円	9.9
第158回 共同発行市場公募地方債	円	7.9
第756回 東京都公募公債	円	7.9
平成28年度第5回 愛知県公募公債	円	7.9
平成27年度第1回 静岡市公募公債	円	6.0
令和2年度第3回 仙台市公募公債（5年）	円	6.0
組入銘柄数		8

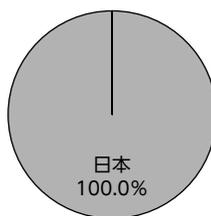
■ 1万口当たりの費用明細

当期（2025年4月16日～2025年10月15日）における費用はありません。

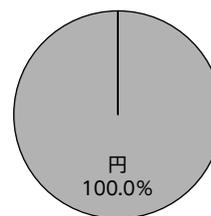
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



（注1）基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

（注2）上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2025年10月15日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

（注3）全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	シュロージャー先進国 好利回りCB ファンド2022-12 (適格機関投資家専用)	債券 組入比率	純資産 総額
(設定日) 2022年12月9日	円 10,000	円 -	% -	円 10,000	% -	% -	百万円 7,799
1期(2023年12月11日)	10,470	0	4.7	10,470	99.7	0.0	14,221
2期(2024年12月10日)	10,813	0	3.3	10,813	99.7	0.0	11,557
3期(2025年12月10日)	10,898	0	0.8	10,898	99.6	0.0	9,591

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	シュロージャー先進国 好利回りCB ファンド2022-12 (適格機関投資家専用)	債券 組入比率
(期首)2024年12月10日	円 10,813	% -	% 99.7	% 0.0
12月末	10,846	0.3	99.6	0.0
2025年1月末	10,902	0.8	99.6	0.0
2月末	10,828	0.1	99.8	0.0
3月末	10,792	△0.2	99.9	0.0
4月末	10,793	△0.2	100.0	0.0
5月末	10,846	0.3	100.1	0.0
6月末	10,815	0.0	99.9	0.0
7月末	10,867	0.5	99.6	0.0
8月末	10,905	0.9	100.0	0.0
9月末	10,875	0.6	99.7	0.0
10月末	10,901	0.8	100.4	0.0
11月末	10,879	0.6	100.0	0.0
(期末)2025年12月10日	10,898	0.8	99.6	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2024年12月11日～2025年12月10日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
シュロージャー先進国好利回りCBファンド 2022-12（適格機関投資家専用）	-	-	1,924,945	2,112,230

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイマネースtockマザーファンド	-	-	-	-

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2024年12月11日～2025年12月10日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2025年12月10日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
	千口	千口	千円	%
シュロージャー先進国好利回りCBファンド 2022-12（適格機関投資家専用）	10,531,991	8,607,045	9,556,403	99.6
合計	10,531,991	8,607,045	9,556,403	99.6

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイマネースtockマザーファンド	9	9	10

(注) 当期末におけるニッセイマネースtockマザーファンド全体の口数は49,894千口です。

投資信託財産の構成

2025年12月10日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
シュロダー先進国好利回りCBファンド 2022-12（適格機関投資家専用）	9,556,403	99.0
ニッセイマネースtockマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	95,997	1.0
投資信託財産総額	9,652,411	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年12月10日現在)

項目	当期末
(A) 資産	9,652,411,137円
コール・ローン等	95,997,967
シュロダー先進国好利回り CBファンド2022-12 (適格機関投資家専用) (評価額)	9,556,403,121
ニッセイマネースtock マザーファンド(評価額)	10,049
(B) 負債	61,399,230
未払解約金	28,903,324
未払信託報酬	32,297,389
その他未払費用	198,517
(C) 純資産総額(A-B)	9,591,011,907
元本	8,800,388,285
次期繰越損益金	790,623,622
(D) 受益権総口数	8,800,388,285口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,898円

(注) 期首元本額 10,688,332,465円
 期中追加設定元本額 -円
 期中一部解約元本額 1,887,944,180円

損益の状況

当期 (2024年12月11日～2025年12月10日)

項目	当期
(A) 配当等収益	204,787円
受取利息	204,787
(B) 有価証券売買損益	134,415,524
売買益	143,140,907
売買損	△ 8,725,383
(C) 信託報酬等	△ 67,795,086
(D) 当期損益金(A+B+C)	66,825,225
(E) 前期繰越損益金	743,846,500
(分配準備積立金)	(743,846,500)
(F) 追加信託差損益金*	△ 20,048,103
(配当等相当額)	(△ 8,607)
(売買損益相当額)	(△ 20,039,496)
(G) 合計(D+E+F)	790,623,622
次期繰越損益金(G)	790,623,622
追加信託差損益金	△ 20,048,103
(配当等相当額)	(△ 8,607)
(売買損益相当額)	(△ 20,039,496)
分配準備積立金	810,671,725

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
 (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
 (注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
 (注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	103,094円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	66,722,131円
(c) 信託約款に定める収益調整金	0円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	743,846,500円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	810,671,725円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	921.18円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

お知らせ

■運用報告書の電子交付について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献につながるものと捉えています。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供も進めていきます。

(2025年4月1日)

■約款変更

運用報告書に関する記載の変更を行うため関連条項に所要の変更を行いました。

(2025年4月1日)

■自社の実質保有比率

2025年11月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネースtockマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に99.8%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

運用者情報

■当社運用担当者情報について

・当社の運用担当者情報はHP上よりご確認ください。

■ニッセイ／シュロダー好利回りCBファンド2022-12（為替ヘッジあり・限定追加型）



<https://www.nam.co.jp/fundinfo/nskcbf2212/main.html>

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）	
信 託 期 間	2022年12月9日～2027年12月10日	
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のCB（転換社債）を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ／シュローダー好利回りCBファンド2022-12（為替ヘッジあり・限定追加型）	「シュローダー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）」および「ニッセイマネースtockマザーファンド」
	シュローダー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）	日本を含む世界のCB（転換社債）
	ニッセイマネースtockマザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品
運 用 方 法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。 	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。	

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産(転換社債)
信託期間	2022年12月12日から2027年12月9日まで
運用方針	信託財産の成長とインカム収益の確保をめざして運用を行います。
主要投資対象	先進国(IMF(国際通貨基金)が定義する先進国・地域の全部または一部、その他運用委託先がこれに準ずると判断する国・地域)の転換社債を主な投資対象とします。先進国国債や残存期間の短い債券ならびに短期金融商品等に投資する場合があります。
組入制限	・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年1回の毎決算時(毎年10月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日)に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収益と売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。なお、信託財産の成長を優先させ、収益分配を行わない場合があります。

シュロダー先進国好利回り CBファンド2022-12 (適格機関投資家専用)

第3期 運用報告書(全体版)

(決算日 2025年10月10日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュロダー先進国好利回りCBファンド2022-12(適格機関投資家専用)」は、2025年10月10日に第3期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

シュロダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館21階
<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日は除く)

Schroders
シュロダー・インベストメント・マネジメント

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債券 組入比率	債券 優先物比率	純資産 総額
		税込み 分配金	騰落 率	騰落 率				
(設定日)	円	円	%	%	%	%	百万円	
2022年12月12日	10,000	—	—	—	—	—	7,682	
1期(2023年10月10日)	10,619	0	6.2	97.0	12.6	—	14,947	
2期(2024年10月10日)	10,908	0	2.7	98.2	26.6	—	11,967	
3期(2025年10月10日)	11,093	0	1.7	84.4	58.1	—	9,949	

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額、税込み分配金は1万円当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	標準価額		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	債券 組入比率	債券 優先物比率
		騰落 率	騰落 率			
(期首)	円	%	%	%	%	%
2024年10月10日	10,908	—	98.2	26.6	—	
10月末	10,953	0.4	96.7	31.3	—	
11月末	10,944	0.3	93.6	31.6	—	
12月末	10,983	0.7	97.0	34.9	—	
2025年1月末	11,046	1.3	96.0	34.0	—	
2月末	10,976	0.6	95.7	32.7	—	
3月末	10,945	0.3	86.0	43.7	—	
4月末	10,952	0.4	85.5	42.1	—	
5月末	11,011	0.9	83.2	42.5	—	
6月末	10,986	0.7	76.8	51.9	—	
7月末	11,045	1.3	79.1	54.2	—	
8月末	11,089	1.7	79.8	54.2	—	
9月末	11,065	1.4	82.2	56.3	—	
(期末)						
2025年10月10日	11,093	1.7	84.4	58.1	—	

(注) 基準価額は1万円当たり。

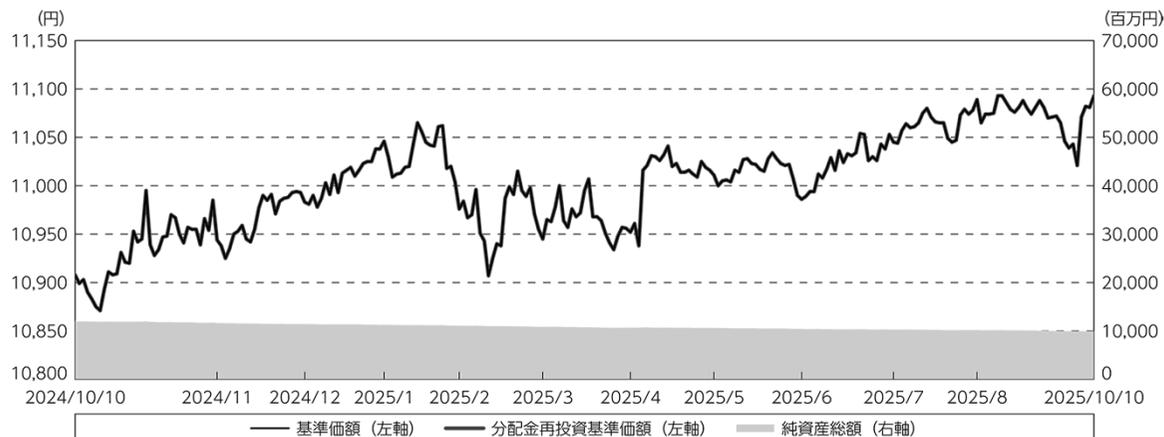
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

（2024年10月11日～2025年10月10日）

期中の基準価額等の推移



期首：10,908円

期末：11,093円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 1.7%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額は、期首（2024年10月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首10,908円でスタートした基準価額は、11,093円（分配後）で期末を迎え、期首比1.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

当期、CB市場は上昇しました。期を通して株式市場の上昇局面における、株式市場に対する追随力を概ね発揮しました。一方、2025年3月から4月における米国関税政策や景気後退懸念を受け、株式市場が調整した局面においても、株式市場に対する下値抵抗力を見せ、期を通して堅調な動きとなりました。

投資環境

当決算期CB市場は上昇しました。2024年9月初めに米連邦準備制度理事会（FRB）が0.5%の利下げを行ったことが市場参加者に好感され、当決算期期初である10月以降も株式市場は堅調な推移となりました。11月には米国大統領選挙でトランプ氏が圧勝したことが好感され、継続して上昇しました。12月にはインフレ懸念が再燃し調整局面に入りました。2025年に入ると、中国企業による生成AI（人工知能）関連の発表などで不安定な局面もありましたが、トランプ氏の大統領就任で一時的に上昇しました。2月以降、移民政策や追加関税の影響で再び軟調となりましたが、3月以降は景気後退懸念と政策期待が交錯しながらも、4月には関税一時停止の報道を受けて市場は持ち直しました。5月は米中貿易摩擦の緩和と関税引き下げ合意により、S&P500種指数が18か月ぶりの高値を記録するなど、株式市場が大きく上昇しました。6月は中東情勢の懸念がある中でも、米国のAI関連企業の好業績が市場を支えました。7月は米国の半導体・IT・金融企業の好決算、欧州の銀行・自動車・防衛株の堅調さが市場を牽引しました。8月はAI関連銘柄の利益確定売りが見られたものの、FRB議長のハト派的発言が利下げ期待を高め、株式市場は堅調に推移しました。9月以降も米国の利下げ期待、欧州の財政出動、中国の景気刺激策が投資家心理を改善し、株式市場の上昇を後押ししました。この様な環境下、同期間におけるCB市場は、インフォメーションテクノロジー、通信セクターが堅調な動きとなり、期を通して上昇となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当期、ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いCBへの投資および満期保有を基本戦略としつつ、CB市場の非効率性を捉え、割安な銘柄に対する投資を実施しました。セクター別では、一般消費財・サービス、金融セクターの組入比率を最も高位としています（国債を除く）。国別では、米国、英国、ドイツを高位としています。また、格付け別ではAA格、BB格、BBB格のCBを中心に保有しています。

（格付はS&P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できない銘柄についてはシュロダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け（平均格付）については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。）

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第3期
	2024年10月11日～ 2025年10月10日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,129

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

米国をはじめとする主要国の金利低下が進む中、企業にとってCBは引き続き魅力的な資金調達手段となっています。2025年9月の新規発行額は月間ベースで過去最高となり、今年年初来の発行総額は前年の水準を大きく上回るペースで推移しており、今後も発行が続く見通しです。アジア、欧州、日本のCBは依然として割安であり、グローバルな分散投資の観点からも魅力的であると考えます。また、AIインフラや半導体、再生可能エネルギーなどの成長テーマに関連する銘柄へのアクセス手段として、CBは有効な選択肢の一つであるといえます。株式市場と同等のリターンを実現しながらも、CBは価格変動が比較的小さく、リスクを抑えた投資手段として注目されています。景気後退局面においては下値抵抗力を発揮し、一方で株式の上昇局面も捉えることが可能なCBは、引き続き魅力的な投資対象と考えます。このような事を踏まえ、今後もグローバルの経済動向を見極めつつ、保有銘柄の信用リスク状況を注視したポートフォリオ運営を継続します。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2024年10月11日～2025年10月10日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	57	0.522	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(54)	(0.495)	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等 ・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等
（ 販 売 会 社 ）	(0)	(0.001)	
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.026)	
(b) そ の 他 費 用	3	0.027	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.007)	<ul style="list-style-type: none"> ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.013)	
（ 印 刷 費 用 ）	(0)	(0.003)	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.004)	<ul style="list-style-type: none"> ・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI：Legal Entity Identifier）登録費用、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合 計	60	0.549	
期中の平均基準価額は、10,999円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2024年10月11日～2025年10月10日）

新株予約権付社債（転換社債）

		買 付		売 付	
		額	面 額	額	面 額
外 国	アメリカ	千米ドル	千米ドル	千米ドル	千米ドル
		—	—	6,650 (8,200)	6,859 (8,178)
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	—	—	500 (1,000)	477 (1,000)
	フランス	—	—	1,032 (674)	891 (674)
	スペイン	—	—	— (1,100)	— (1,100)
	オーストリア	—	—	— (3,600)	— (3,600)
	イギリス	千英ポンド	千英ポンド	千英ポンド	千英ポンド
		—	—	500 (3,500)	471 (3,500)
オーストラリア	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	
	—	—	400	391	

（注）金額は約定代金。（経過利子分は含まれておりません。）

（注）単位未満は切捨て。

（注）（ ）内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千米ドル 17,124	千米ドル 1,861

（注）金額は約定代金。（経過利子分は含まれておりません。）

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2024年10月11日～2025年10月10日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年10月10日現在)

国内新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	柄	当 期 末	
		額 面 金 額	評 価 額
MERCARI INC 0% 26/07/14		千円 250,000	千円 243,746
PARK24 0% 25/10/29		80,000	79,919
合 計	額 面 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	330,000 2	323,666 < 3.3% >

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。

外国新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	柄	当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)		千米ドル	千米ドル	千円
TELADOC HEALTH INC 1.25%		2,750	2,588	396,242
SEA LTD 0.25% CB		1,750	1,681	257,485
RINGCENTRAL INC 0% CB		750	732	112,176
SOFI TECHNOLOGIES 0% CB		2,000	2,753	421,533
FIVERR INTER 0% CB		500	499	76,544
BLOCK INC 0% CB		475	463	70,917
BLOCK INC 0.25% CB		875	802	122,801
NEXTERA ENERGY 0% CB		2,000	1,992	305,047
SUNRUN INC 0% CB		1,700	1,610	246,589
EXPEDIA GROUP INC 0% CB		500	506	77,578
AIRBNB INC 0% CB		500	490	75,052
CABLE ONE INC 0% CB		900	879	134,612
JETBLUE AIRWAYS 0.5% CB		700	684	104,751
BLACKSTONE MTG 5.5% CB		1,400	1,379	211,111
SNAP INC 0% CB		1,250	1,156	177,010
TRIPADVISOR 0.25% CB		1,750	1,704	260,874
DIGITALOCEAN 0% CB		1,000	947	145,091
UNITY SOFTWARE 0% CB		750	716	109,679
MAGNITE INC 0.25% CB		900	879	134,680
NCL CORP 2.5% CB		550	563	86,262
AFFIRM HOLDINGS 0% CB		500	478	73,291
SHOPIFY INC 0.125% CB		500	568	86,955

シュロダー先進国好利回りC Bファンド2022-12 (適格機関投資家専用)

銘柄	当 期 末		
	額 面 金 額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ) REPAY HOLDINGS 0% CB	千米ドル 1,250	千米ドル 1,223	千円 187,248
小 計	額 面 ・ 金 額 25,250	25,302	3,873,539
	銘 柄 数 < 比 率 >	23	<38.9%>
(ユーロ・・・ドイツ) ZALANDO SE 0.625% CB TAG IMMOBILIEN 0.625% CB	千ユーロ 900 2,500	千ユーロ 867 2,456	千円 153,663 435,070
小 計	額 面 ・ 金 額 3,400	3,324	588,734
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	<5.9%>
(ユーロ・・・イタリア) NEXI SPA CONV 1.75% CB	千ユーロ 600	千ユーロ 583	千円 103,410
小 計	額 面 ・ 金 額 600	583	103,410
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	<1.0%>
(ユーロ・・・フランス) UBISOFT 2.375% CB FNAC DARTY 0.25% CB	千ユーロ 1,000 324	千ユーロ 984 308	千円 174,407 54,613
小 計	額 面 ・ 金 額 1,324	1,293	229,021
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	<2.3%>
(ユーロ・・・オランダ) BASIC-FIT 1.5% CB JUST EAT TAKE 1.25% CB SHOP APOTHEKE EUR 0% CB	千ユーロ 700 1,000 1,000	千ユーロ 691 1,003 994	千円 122,482 177,729 176,143
小 計	額 面 ・ 金 額 2,700	2,689	476,355
	銘 柄 数 < 比 率 >	3	<4.8%>
(ユーロ・・・アイルランド) GLANBIA CO 1.875% CB	千ユーロ 1,300	千ユーロ 1,361	千円 241,105
小 計	額 面 ・ 金 額 1,300	1,361	241,105
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	<2.4%>
(ユーロ・・・その他) DELIVERY HERO 1.0% CB	千ユーロ 2,000	千ユーロ 1,976	千円 350,004
小 計	額 面 ・ 金 額 2,000	1,976	350,004
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	<3.5%>
ユ ー ロ 計	額 面 ・ 金 額 11,324	11,228	1,988,631
	銘 柄 数 < 比 率 >	10	<20.0%>
(イギリス) CAPITAL&COUNTIES 2% CB TRAINLINE PLC 1.0% CB OCADO GROUP PLC 0.75%	千英ポンド 3,600 500 4,000	千英ポンド 3,555 494 3,645	千円 724,216 100,811 742,450

シュロダー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）

銘柄		当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(イギリス)		千英ポンド	千英ポンド	千円
IWG GROUP HOLD 0.5% CB		1,500	1,492	303,937
小 計	額 面 金 額	9,600	9,187	1,871,416
	銘 柄 数 < 比 率 >	4	—	<18.8%>
(スイス)		千スイスフラン	千スイスフラン	千円
DUFREY ONE 0.75% CB		1,200	1,198	227,451
CEMBRA MONEY BANK 0% CB		600	598	113,646
小 計	額 面 金 額	1,800	1,797	341,098
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	—	<3.4%>
合 計	額 面 金 額	—	—	8,074,686
	銘 柄 数 < 比 率 >	39	—	<81.2%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) <>内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	40,200	37,769	5,782,199	58.1	—	—	58.1	—
合 計	40,200	37,769	5,782,199	58.1	—	—	58.1	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当		期		償還年月日	
			利 率	額面金額	評 価 額			
					外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円		
	国債証券	US 0.625%	30/11/27	0.625	40,200	37,769	5,782,199	2027/11/30
合 計							5,782,199	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年10月10日現在)

項 目	当 期		末
	評 価 額	比 率	
新株予約権付社債(転換社債)	千円		%
	8,398,352		52.3
公社債	5,782,199		36.0
コール・ローン等、その他	1,883,684		11.7
投資信託財産総額	16,064,235		100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(13,901,986千円)の投資信託財産総額(16,064,235千円)に対する比率は86.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=153.09円、1ユーロ=177.11円、1英ポンド=203.69円、1スイスフラン=189.80円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年10月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	53,994,267,972
コール・ローン等	28,620,970
公社債(評価額)	14,180,552,798
未収入金	35,216,570,395
未収利息	28,097,770
前払費用	388,999
差入委託証拠金	4,540,037,040
(B) 負債	44,045,018,250
未払金	39,476,963,760
未払信託報酬	27,202,097
差入委託証拠金代用有価証券	4,540,037,040
その他未払費用	815,353
(C) 純資産総額(A-B)	9,949,249,722
元本	8,968,956,994
次期繰越損益金	980,292,728
(D) 受益権総口数	8,968,956,994口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,093円

[元本増減]

期首元本額	10,970,947,019円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	2,001,990,025円

(注) 2025年10月10日現在、先物取引などに係る差入委託証拠金代用有価証券として担保に供している資産は以下の通りです。

・ 国債証券	4,265,594,978円
--------	----------------

○損益の状況 (2024年10月11日～2025年10月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	123,657,316
受取利息	119,997,007
その他収益金	3,660,309
(B) 有価証券売買損益	94,714,086
売買益	2,540,748,084
売買損	△2,446,033,998
(C) 信託報酬等	△ 59,906,881
(D) 当期損益金(A+B+C)	158,464,521
(E) 前期繰越損益金	849,870,634
(F) 追加信託差損益金	△ 28,042,427
(配当等相当額)	(4,699,630)
(売買損益相当額)	(△ 32,742,057)
(G) 計(D+E+F)	980,292,728
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	980,292,728
追加信託差損益金	△ 28,042,427
(配当等相当額)	(4,699,630)
(売買損益相当額)	(△ 32,742,057)
分配準備積立金	1,008,335,155

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(89,732,049円)、費用控除後の有価証券等損益額(68,732,472円)、信託約款に規定する収益調整金(4,699,630円)および分配準備積立金(849,870,634円)より分配対象収益は1,013,034,785円(10,000口当たり1,129円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注) 当ファンドの投資信託財産の運用を行う運用委託先に対する報酬・費用は、運用権限委託契約に定められた報酬額を当ファンドの委託者報酬から支払っております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

<お知らせ>

2025年5月1日付で運用委託先をシュローダー・インベストメント・マネージメント(スイス)AGからシュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッドへ変更しました。

ニッセイマネーストック マザーファンド

運用報告書

第 26 期

(計算期間：2025年4月16日～2025年10月15日)

運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。
・外貨建資産への投資は行いません。



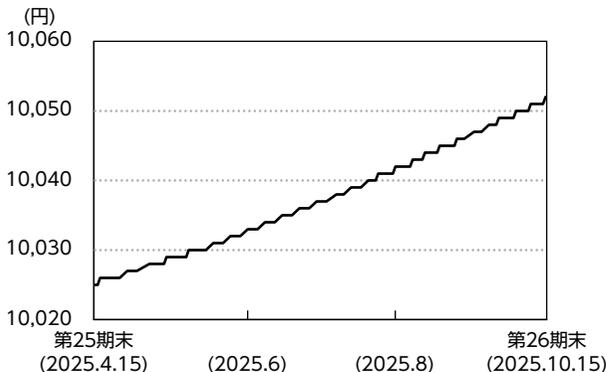
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2025年4月16日～2025年10月15日

基準価額等の推移



■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
22期 (2023年10月16日)	10,008	△0.0	94.1	50
23期 (2024年4月15日)	10,008	0.0	74.1	50
24期 (2024年10月15日)	10,011	0.0	64.0	50
25期 (2025年4月15日)	10,025	0.1	93.8	50
26期 (2025年10月15日)	10,052	0.3	69.5	50

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2025年4月15日	10,025	—	93.8
4月末	10,027	0.0	93.7
5月末	10,030	0.0	71.7
6月末	10,035	0.1	75.6
7月末	10,039	0.1	73.6
8月末	10,044	0.2	87.5
9月末	10,049	0.2	69.5
(期末)2025年10月15日	10,052	0.3	69.5

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2025年4月16日～2025年10月15日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料	－円	－%	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	－	－	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合計	－	－	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,037円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2025年4月16日～2025年10月15日

公社債

		買付額	売付額
国内	地方債証券	千円 23,863	千円 － (31,000)
	特殊債券	－	－ (5,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2025年4月16日～2025年10月15日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
第160回 共同発行市場公募地方債	6,958	－	－
平成28年度第1回 広島県公募公債	4,971		
平成28年度第5回 愛知県公募公債	3,978		
第756回 東京都公募公債	3,978		
第158回 共同発行市場公募地方債	3,977		

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2025年10月15日現在

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	35,000 (35,000)	34,883 (34,883)	69.5 (69.5)	—	—	—	69.5 (69.5)
合計	35,000 (35,000)	34,883 (34,883)	69.5 (69.5)	—	—	—	69.5 (69.5)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
地方債証券	第756回東京都公募公債	0.0500	2026/ 6 /19	4,000	3,985
	平成27年度第13回京都府公募公債	0.1100	2026/ 3 /17	5,000	4,987
	平成28年度第5回愛知県公募公債	0.0700	2026/ 6 /29	4,000	3,984
	平成28年度第1回広島県公募公債	0.0800	2026/ 5 /25	5,000	4,982
	第158回共同発行市場公募地方債	0.0800	2026/ 5 /25	4,000	3,985
	第160回共同発行市場公募地方債	0.0500	2026/ 7 /24	7,000	6,964
	平成27年度第1回静岡市公募公債	0.4760	2025/11/25	3,000	2,999
	令和2年度第3回仙台市公募公債(5年)	0.0100	2026/ 1 /28	3,000	2,993
	合計	—	—	—	34,883

投資信託財産の構成

2025年10月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	34,883	69.5
コール・ローン等、その他	15,286	30.5
投資信託財産総額	50,170	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイマネーストックマザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年10月15日現在)

項目		当期末
(A)資産	産	50,170,339円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等		15,277,492
公 社 債 (評 価 額)		34,883,528
未 収 利 息		9,150
前 払 費 用		169
(B)負債	債	1,806
未 払 解 約 金		1,806
(C)純資産総額(A-B)		50,168,533
元 本		49,911,120
次 期 繰 越 損 益 金		257,413
(D)受益権総口数		49,911,120口
1万口当たり基準価額(C/D)		10,052円

(注1) 期首元本額 49,956,106円
 期中追加設定元本額 9,953円
 期中一部解約元本額 54,939円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。
 ニッセイマネーストックファンド (適格機関投資家限定)

ニッセイ世界リートオープン (毎月決算型)	49,831,241円
ニッセイ世界リートオープン (年2回決算型)	9,995円
ニッセイ気候変動関連グローバル株式ファンド (予想分配金提示型)	9,995円
ニッセイ気候変動関連グローバル株式ファンド (資産成長型)	9,987円
ニッセイ/シュロージャー好利回りCBファンド2022-12 (為替ヘッジあり・限定追加型)	9,987円
ニッセイ/シュロージャー好利回りCBファンド2024-03 (為替ヘッジあり・限定追加型)	9,989円
ニッセイ/シュロージャー好利回りCBファンド2025-03 (為替ヘッジあり・限定追加型)	9,994円
ニッセイ/シュロージャー好利回りCBファンド2025-03 (為替ヘッジあり・限定追加型)	9,979円
ニッセイ/シュロージャー好利回りCBファンド2025-09 (為替ヘッジあり・限定追加型)	9,953円

損益の状況

当期 (2025年4月16日~2025年10月15日)

項目	当期
(A)配当等収益	66,141円
受 取 利 息	66,141
(B)有価証券売買損益	64,756
売 買 益	77,027
売 買 損	△ 12,271
(C)当期損益金(A+B)	130,897
(D)前期繰越損益金	126,613
(E)追加信託差損益金	47
(F)解約差損益金	△ 144
(G)合計(C+D+E+F)	257,413
次期繰越損益金(G)	257,413

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (E)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (F)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。